



評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) 相当程度進展あり  (判断根拠)  測定指標のうち、国立公園・国民公園の利用者数については、令和元年度は集計中であるが、平成30年度はおおむね前年度の水準を維持している。エコツーリズム推進法に基づく全体構想については、令和元年度は新たに2件の認定を行った。また、訪日外国人国立公園利用者数については、令和元年度は韓国客の減少等の影響を受け前年よりやや減少したが、受入環境整備は着実に進んでいる。測定指標のうち、温泉の自噴湧出量については、令和元年度は集計中だが、平成30年度はおおむね前年度の水準を維持している。
	施策の分析	
	次期目標等への反映の方向性	

学識経験を有する者の知見の活用	国立公園満喫プロジェクト有識者会議において、国立公園の利用者数や取組内容について報告するとともに、出された意見を施策に反映している。
-----------------	--

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	自然公園等利用者数調
---------------------------	------------

担当部局名	国立公園課 国立公園利用推進室 自然環境整備課	作成責任者名 (※記入は任意)	熊倉 基之 中島 尚子 山口 富夫	政策評価実施時期	令和2年9月
-------	-------------------------------	--------------------	-------------------------	----------	--------